

第1問 短文の聞き取り

▶ 出題のねらい

第1問は短文を聞いて内容を正しく理解することができるかを問う問題。Aは読み上げられる英文の内容に最も近い意味の選択肢を選ぶ問題、Bは読み上げられる英文と内容が最も近いイラストを選ぶ問題となっている。読み上げられる英文はいずれも短く、2回読まれるので、あわてることなく英文を聞きとればよい。

A

問1 [1] ①

▶ 読み上げ文

I've just finished my homework. So I'll help Nicole with hers until my guitar lesson.

▶ 訳文

「私はちょうど宿題を終えたところです。だから、ギターレッスンの時間までニコルの宿題を手伝いますよ」

- ① ニコルはまだ宿題を終えていない。
- ② ニコルは今日、ギターのレッスンがある。
- ③ 話者はもうすぐ宿題を終えるだろう。
- ④ 話者はギターの練習をしないつもりだ。

▶ 解説

「私は宿題が終わったので、ニコルの宿題を手伝う」と述べていることから、ニコルはまだ宿題を終えていないことがわかる。①が正解。なお、ギターのレッスンを受けるのは話者なので、②は不正解。

▶ 語句

(読み上げ文)

help A with B「AのBを手伝う」

until「～(のとき)まで」

(設問)

not～yet「まだ～ない」

practice doing「～する練習をする」

問2 [2] ①

▶ 読み上げ文

Kathy will be leaving for London next month. She is looking forward to her third visit there.

▶ 訳文

「キャシーは来月ロンドンへ向け出発する予定です。彼女は3度目の訪問を楽しみにしています」

- ① キャシーは以前、ロンドンへ2度行ったことがある。
- ② キャシーは3日間ロンドンに滞在している。
- ③ キャシーは来月ロンドンを去る予定だ。
- ④ キャシーは来月の3日にロンドンを訪れる予定だ。

▶ 解説

「キャシーは来月ロンドンへ向け出発する」と述べた後、「3度目の訪問を楽しみにしている」と続けているので、キャシーはこれまでにロンドンを2度訪れていることがわかる。よって①が正解。

▶ 語句

(読み上げ文)

leave for「～へ向け出発する」

look forward to「～を楽しみに待つ」

(設問)

have been to「～へ行ったことがある」

get out of「～から出る[脱出する]」

問3 [3] ④

▶ 読み上げ文

When shall we have a graduation party for Fred? How about on the 13th? Or what about next weekend?

▶ 訳文

「フレッドの卒業パーティーはいつにしようか。13日はどうかな? それとも次の週末はどう?」

- ① フレッドは来週、学校を卒業したい。
- ② フレッドは13日にパーティーを開きたい。
- ③ 話者は招待客の人数を決めたい。
- ④ 話者はパーティーの日取りを決めたい。

▶ 解説

「フレッドの卒業パーティーはいつにしようか」と尋ねた後で、「13日」や「次の週末」といった具体的な日にちを提案していることから、④が正解。How about～?とWhat about～?は共に、相手に提案や勧誘をするときなどに用いられる表現。

▶ 語句

(読み上げ文)

graduation「卒業」

(設問)

graduate from「～を卒業する」

hold a party「パーティーを開く」

the number of「～の数」

set a date for「～の日取りを決める」

問4 4 ③

▶ 読み上げ文

I'm unable to have a meeting with Laura tomorrow.
Could you please let her know that today?

▶ 訳文

「私は明日ローラと打ち合わせをすることができません。そのことを今日、彼女に知らせてもらえませんか」

- ① 話者は明日ローラと会いたくない。
- ② 話者は今日ローラと会うつもりだ。
- ③ 話者はローラとの打ち合わせをキャンセルする必要がある。
- ④ 話者はローラに打ち合わせに来てもらいたい。

▶ 解説

「明日ローラと打ち合わせをすることができない」と述べ、「そのことを今日彼女に知らせてほしい」と頼んでいるので、話者は打ち合わせをキャンセルしようとしていることがわかる。よって③が正解。発言内に tomorrow と today が混在するので、それぞれに付随する事柄を整理しながら聞くようにしたい。

▶ 語句

(読み上げ文)

be unable to do「～することができない」

(設問)

cancel「～をキャンセルする[取りやめる]」

would like O to do「Oに～してもらいたい」

B

問5 5 ③

▶ 読み上げ文

Mr. Raymond is telling the students that they can walk out of the door on either side of the classroom.

▶ 訳文

「レイモンド先生が生徒たちに、教室のどちら側のドアからでも出てよいと指示している」

▶ 解説

教師の指示で、生徒たちが2つあるドアの両方から

教室の外へ出ている③が正解。either は肯定文では「(2つのうち)どちらの～でも、(対になっているものの)両方の」という意味を表す。

▶ 語句

walk out of「～から歩いて出る」

on either side of「どちらの～でも、～の両側に」

問6 6 ④

▶ 読み上げ文

The nurse is asking the doctor to check the patient's condition.

▶ 訳文

「看護師が医師に患者の状態を診てほしいと頼んでいる」

▶ 解説

男性看護師が女性医師に頼み事をしており、その内容は「医師が患者を診察すること」なので、看護師側に吹き出しがあり、かつその内容が患者を医師が診察する様子を表している④が正解。

▶ 語句

ask O to do「Oに～してほしいと頼む」

patient「患者」

問7 7 ②

▶ 読み上げ文

In this rest area, you can walk your pet, but neither drinking nor smoking is allowed.

▶ 訳文

「この休憩区域では、ペットを散歩させてもよいが、飲酒も喫煙も許されていない」

▶ 解説

ペットが許可されていて、飲酒と喫煙の両方が禁止されていることを示す②が正解。neither A nor Bは「AもBも～ない」の意味で、AとBの両方を否定していることに注意。

▶ 語句

rest「休憩、休息」

walk「～を散歩させる」

neither A nor B「AもBも～ない」

drinking「飲酒」

allow「～を許す[許可する]」

第2問 短い対話の聞き取り(イラスト選択)

▶ 出題のねらい

短い対話とそれに続く質問を聞き、答えとして最も適切なイラストなどを選ぶ問題。日本語で書かれている対話の場面をヒントに、状況を正しく理解し、各イラストの差異を見分ける力が求められる。

問8 8 ④

▶ 読み上げ文

M : Don't forget to wear your gloves.

W : I know, I know. Oh, I need this. I want to protect my head.

M : You can bring some sandwiches if you want.

W : No thanks. We're going to eat at a hamburger shop after skating.

Question : What will the girl take?

▶ 訳文

男性：忘れずに手袋をするんだよ。

女性：わかってるって。あっ、これが要るんだ。頭を守らないとね。

男性：必要ならサンドイッチを持っていっても構わないよ。

女性：要らない。スケートの後、ハンバーガー屋でみんなと食事をするから。

(質問)

女の子は何を持っていくか。

▶ 解説

まず父親が「手袋」をするように言い、女の子はそれを受け入れている。次に「これが要るんだ。頭を守らないとね」という女の子の発言から「ヘルメット」を持っていくことがわかる。父親が勧めた「サンドイッチ」に対しては「要らない」と答えているので、④が正解。膝あて(knee pads)については言及されていないため、この会話から持っていくかどうかを判断することはできない。

▶ 語句

don't forget to do「忘れずに～する」

wear「～を身につける」

glove「手袋」

protect「～を守る[保護する]」

問9 9 ①

▶ 読み上げ文

M : Is this your brother, Mika?

W : Yes, and the other boy throwing the ball is my cousin. Guess which woman is my sister.

M : The one by the tree?

W : Nope. She's behind my brother.

Question : Which photo are they looking at?

▶ 訳文

男性：この子がきみの弟さんのの、ミカ？

女性：そうよ。そしてボールを投げている子がいとこなの。どちらの女性が私の姉か当ててみて。

男性：木のそばにいる人かな？

女性：いいえ。弟の後ろにいるのが姉よ。

(質問)

彼らが見ているのはどの写真か。

▶ 解説

最初のやり取りから、ボールを投げている男の子がミカのいとこで、受けているのが弟であることがわかる。男性の2番目の発言にある代名詞 one は前出の woman の代用なので、木のそばに女性がいることを表している。またミカの最後の発言から、弟の後方にいる女性が姉であることがわかる。よって①が正解。

▶ 語句

throw「～を投げる」

cousin「いとこ」

guess「～を言い当てる[推測する]」

nope「いいえ(noのくだけた表現)」

問10 10 ③

▶ 読み上げ文

M : Excuse me. Where's the shower room?

W : Walk straight past the table tennis room and turn right.

M : Is it at the end of the hallway?

W : No, it's right next to the changing room.

Question : Where is the shower room?

▶ 訳文

男性：すみません。シャワー室はどこですか？

女性：真っすぐ行って、卓球場を過ぎたら右に曲がってください。

男性：廊下の突き当たりにあるのですか？

女性：いいえ、更衣室のすぐ隣です。

(質問)

シャワー室はどこか。

▶ 解説

シャワー室への行き方を教える女性の発言を聞き取る。順に、目の前の廊下を直進→卓球場を過ぎたら右折→更衣室の隣がシャワー室、である。よって③が正解。②が紛らわしいが、男性に「(シャワー室は)廊下の突き当たりにあるのですか?」と尋ねられると、女性はそれを否定していることから、廊下の突き当たりにある②はシャワー室ではないことがわかる。

▶ 語句

walk past「～のそばを通り過ぎる」

table tennis「卓球」

turn right「右に曲がる」

at the end of「～の突き当たり[終わり]に」

hallway「廊下」

right next to「～のすぐ隣に」

changing room「更衣室」

問11 11 ②

▶ 読み上げ文

M: Isn't the sun too strong today? You're clever enough to wear a cap.

W: You're right. But I should have worn short sleeves like you.

M: Hey! Your ice cream is melting!

W: Oh, my gosh! Give me your handkerchief!

Question: Which picture shows their conversation?

▶ 訳文

男性: 今日は日差しが強すぎない? 帽子をかぶってくるなんて、君は賢いよ。

女性: そうね。でも、あなたのように半袖を着てくべきだったわ。

男性: おっと! きみのアイスクリームが溶けてるよ!

女性: あら、大変! ハンカチを貸してちょうだい!

(質問)

彼らの会話の様子を表している絵はどれか。

▶ 解説

男性の最初の発言から、女性は帽子を着用しているが男性は着用していないことがわかる。さらに、女性の最初の発言に用いられている(should have + 過去分詞)は「～すべきだった(のにしなかった)」という意味なので、女性は男性の半袖姿を見て後悔している、

つまり半袖を着ていないことがわかる。また、男性の2番目の発言から、アイスクリームを手を持っているのは女性だとわかる。よって帽子をかぶった女性が長袖姿でアイスクリームを手をしている②が正解。

▶ 語句

clever「利口な、賢い」

wear「～を身につける」

sleeve「袖」

melt「溶ける」

Oh, my gosh!「あら、大変!」(gosh は god の婉曲語。

驚きや失望などの表現)

conversation「会話」

第3問 短い対話の聞き取り

▶ 出題のねらい

短い対話を聞き、あらかじめ英文で書かれた問いの答えとして最も適切な選択肢を選ぶ問題。問いと選択肢をヒントに、対話の流れを正確に把握できるかがポイントとなる。第3問は、第1問、第2問と異なり読み上げ回数が1回となるので、重要な情報を聞き逃すことがないように聞き始めから集中することが求められる。

問12 12 ②

▶ 読み上げ文

W: Did you hear next Saturday's game was canceled?

M: How come? Is the weather going to be bad that day?

W: No. I've heard that about half of the players have got the flu. So our school might even be closed for a few days.

▶ 訳文

女性: 次の土曜日の試合が中止になったって聞いた?

男性: どうして? その日は天気が悪いんだっけ?

女性: 違うわ。約半数の選手がインフルエンザにかかっているそうよ。だからうちの学校も数日間閉鎖されるかもしれないわ。

(質問)

なぜ試合が中止になったのか。

(選択肢)

- ① その日は選手が全員忙しい。
- ② 多くの選手が病気にかかっている。
- ③ その日は悪天候が予想されている。
- ④ 彼らの学校がしばらく閉鎖される。

▶ 解説

試合が中止された理由を聞き取る。男性の最初の発言にある How come? は、驚いて「どうして?」と理由・原因を尋ねる表現。これに対して女性が「約半数の選手がインフルエンザにかかっている」と説明しているので②が正解。③の悪天候は女性が否定している。④の学校閉鎖は試合中止の理由ではなく、インフルエンザの発生による今後の見通しである。

▶ 語句

(読み上げ文)

cancel「～を中止する」

How come?「どうして? なぜ?」

weather「天気, 天候」

flu「インフルエンザ(influenza)」

(設問)

suffer from「～を患う」

sickness「病気」

be expected to do「～すると予想される」

for a while「しばらくの間」

問13 13 ②**▶ 読み上げ文**

M: What would you like to see?

W: Anything but a mystery.

M: How about a comedy or an action movie?

W: The comedy sounds good, but it started showing ten minutes ago.

M: The action movie will start soon, but actually I'd rather see a horror.

W: Why didn't you say that earlier!? I'm a huge lover of horror movies.

▶ 訳文

男性: 何が見たい?

女性: ミステリー以外なら何でもいいわ。

男性: コメディかアクション映画はどう?

女性: コメディは良さそうね。でも 10 分前に上映が始まってるわ。

男性: アクション映画は間もなく始まるけど、実はむしろホラー映画を見たいんだ。

女性: どうしてそれをもっと早く言わないの!? 私はホラー映画が大好きなのよ。

(質問)

彼らはどんな種類の映画を見るか。

(選択肢)

① コメディ

② ホラー

③ ラブストーリー

④ ミステリー

▶ 解説

男性と女性がどんな映画を見るか相談している。女性は「ミステリー以外なら何でもいい」と述べ、「コメディかアクション映画は?」という男性の提案に「コメディは良さそうね」と答えるが、すでに上映が始まっているため諦める。次に男性が「(アクション映画より)実はむしろホラー映画が見たい」と述べたのに対して、女性が「私はホラー映画が大好き」と賛同の意を示している。よって②が正解。ラブストーリーについては言及がない。

▶ 語句

(読み上げ文)

anything but「～のほかは何でも」

sound「～に聞こえる[思われる]」

actually「実は」

would rather do「むしろ～したい」

be a huge lover of「～が大好きである」

問14 14 ③**▶ 読み上げ文**

W: Hello. My refrigerator is making a strange loud noise. It's only been a month since I bought it.

M: How long has it been like that?

W: Since yesterday evening. I'm afraid there's something wrong with it.

M: Okay. Please tell me the product number. Oh, before that, please unplug the fridge immediately, just in case. We'll send an engineer right away.

▶ 訳文

女性: もしもし。うちの冷蔵庫から聞き慣れない大きな音がするんです。買ってからまだ 1 カ月しかたっていないのに。

男性: いつからそのような状態ですか。

女性: 昨日の晩からです。どこか故障しているんじゃないかしら。

男性: わかりました。製品番号を教えてください。あつ、その前に、念のためすぐに冷蔵庫のプラグを抜いてください。直ちに修理技師を向かわせますので。

(質問)

この会話の直後に女性は何をするか。

(選択肢)

- ① 新しい冷蔵庫を買う
- ② 製品番号を調べる
- ③ 冷蔵庫の電源を切る
- ④ 修理技師と話をする

▶ 解説

女性買ったばかりの冷蔵庫の不具合を電話で訴えている。電器店の担当者が最後の発言で製品番号を尋ねているが、何かに気づき慌てて「その前に、念のためすぐに冷蔵庫のプラグを抜いてください」と指示している。したがって、女性はこの後、冷蔵庫のプラグを抜いてから製品番号を調べ、それを担当者に伝えると推測できる。よって③が正解。

▶ 語句

(読み上げ文)

refrigerator「冷蔵庫(fridge)」

loud「(音が)大きい、やかましい」

noise「音、騒音」

I'm afraid (that) SV「～ではないかと心配する」

there's something wrong with「～はどこか具合が悪い」

product「製品、製造物」

unplug「～のプラグを抜く[電源を切る]」

immediately「すぐに、直ちに」

just in case「念のために、万が一に備えて」

send「～を行かせる[派遣する]」

engineer「修理技師、エンジニア」

right away「すぐに、直ちに」

(設問)

conversation「会話」

shut down「～(機械など)の電源を切る」

問15 15 ④

▶ 読み上げ文

M: Kate, can you teach me history for the exams?

W: Okay, John. History is my favorite. If I do so, can you teach me math in return?

M: Sure thing. I like math best. And..., can I ask you one more thing?

W: What's that?

M: I'd also like you to give me some advice on science.

W: No problem. You can count on me.

▶ 訳文

男性: ケイト, テストに向けて歴史を教えてくださいませんか?

女性: いいわよ, ジョン。歴史は大好きだから。もし私がそうしてあげたら, お返しに数学を教えてくださいませんか?

男性: もちろんだよ。僕は数学が一番好きなんだ。それに...もう1つ頼んでもいいかな?

女性: 何かしら?

男性: 理科についてもアドバイスをしてもらいたいんだ。

女性: 大丈夫よ。私に任せて。

(質問)

会話によると, 正しいのはどれか。

(選択肢)

- ① ジョンは歴史より理科が好きだ。
- ② ジョンはケイトから数学を教えてください。
- ③ ケイトはジョンと同じくらい数学が好きだ。
- ④ ケイトはジョンに歴史と理科を教える。

▶ 解説

まずジョンがケイトに「歴史」を教えてくださいませんかと頼んでいる。ケイトは承諾し, お返しに「数学」を教えてくださいと述べ, ジョンが承諾しているので, ②は逆の内容になるため不適切。その際にジョンは「数学が一番好き」と述べているが, その前にケイトは「歴史が大好き」と言っているだけなので, ③も誤り。最後の発言でジョンが「理科についてもアドバイスをしてほしい」と述べ, ケイトが快諾しているので, ケイトはジョンに歴史と理科を教えることになり, これと内容が一致する④が正解。①については言及がない。

▶ 語句

(読み上げ文)

favorite「お気に入り, 最も好きなもの[人]」

math「数学(mathematics)」

in return「お返しに, 代わりに」

Sure thing.「もちろん, いいですよ」

count on「～を当てにする, ～に頼る」

(設問)

according to「～によると」

問16 16 ①

▶ 読み上げ文

M: Ms. Lewis, are you going to attend a teachers' meeting now?

W: Yes. But before that, I'm meeting Wendy.
What's the matter, Ron?

M: I have a question about my homework.

W: Oh, Wendy is asking me the same thing. Go
and wait in the classroom with her. I'll be
right there.

▶ 訳文

男性: ルイス先生, これから職員会議に出席されるの
ですか。

女性: ええ。でもその前にウェンディと会うわ。どう
かしたの, ロン?

男性: 宿題について質問があるんです。

女性: あら, ウェンディの頼み事と同じだわ。教室に
行って, 彼女と一緒に待っていて。すぐに行きま
すから。

(質問)

先生がこの会話の後で最初に何をする可能性が最も
高いか。

(選択肢)

- ① 生徒たちの質問に答える
- ② 職員会議に出席する
- ③ 職員室でウェンディと会う
- ④ 教室でウェンディとロンを待つ

▶ 解説

会話を終えた後に先生が最初にとる行動を推測する。最初のやりとりから, 女性が先生で, 男性がロンという名前の男子生徒であることがわかる。先生の最初の発言から, 先生は職員会議の前にウェンディと会うことがわかる。ロンの用件は宿題についての質問で, それを聞いた先生はウェンディと同じ用件だと述べ, 「教室に行って, 彼女と一緒に待っていて。すぐに行きますから」とロンに伝えている。この発言から, ウェンディも生徒であり, 先生は生徒2人の質問に教室でまとめて答えようと考えていることがわかる。よって①が正解。職員会議への出席はその後の行動なので, ②は不適切。

▶ 語句

(読み上げ文)

attend「～に出席する」

teachers' meeting「職員会議」

What's the matter? 「どうしたのですか? 」

(設問)

be likely to do「～する可能性が高い」

teachers' room「職員室」

問17 17 ③

▶ 読み上げ文

W: What about driving to the beach? I'd like to
have a seafood lunch at the newly opened
restaurant there.

M: Sounds good. I want to move on to the
national park for a walk after the meal.

W: Okay. It'd be nice if we could stop by the art
museum on our way to the beach.

M: I was going to say that, too.

▶ 訳文

女性: 海辺までドライブするのはどう? そこに新しくオープンしたレストランでシーフードランチを食べたいの。

男性: いいね。僕は食事の後, 国立公園へ移動して散歩したいな。

女性: いいわよ。海辺へ行く途中で美術館に寄れたらいいわね。

男性: 私もそう言おうと思ってたんだ。

(質問)

彼らが最後に訪れるのはどこか。

(選択肢)

- ① 美術館
- ② 海辺
- ③ 国立公園
- ④ レストラン

▶ 解説

最初の発言で, 女性が海辺へのドライブを提案し, そこにあるレストランで昼食を取りたいと伝える。男性はそれに賛同し, 食事の後には国立公園へ行きたいと希望を述べ, 女性も快諾している。続いて女性が美術館に立ち寄るというプランを持ち出すが, これは「海辺へ行く途中」なので, 行き先の順番は, 美術館→海辺(レストラン)→国立公園となる。したがって, 彼らが最後に訪れるのは「国立公園」であり, ③が正解。

▶ 語句

(読み上げ文)

newly「新たに, 最近」

sound「～に聞こえる[思われる]」

move on to「～に向かう, ～へ進む」

for a walk「散歩に」

meal「食事」

stop by「～に立ち寄る」

on one's way to「～へ行く途中で」

第4問

モノローグの聞き取りと図表完成、 複数のモノローグの聞き取り

▶ 出題のねらい

A はやや長めのモノローグを聞き、発話の内容に沿ってグラフを完成させる問題(問18~21)と、表の空所に入る正しい情報を選択する問題(問22~25)。B は4人のモノローグを聞き、与えられた条件に最も合致するものを選択する問題。いずれも読み上げられる英文の概要と要点を正しく把握し、情報を的確に処理する力が求められる。

A

問18~21

18
20

③
②

19
21

④
①

▶ 読み上げ文

One hundred university students were asked a question: What do you think is the best part-time job for students? They were to choose one out of the following five jobs: "amusement park attendant," "coffee shop employee," "food delivery driver," "restaurant worker," and "retail clerk." The most common choice was "restaurant worker," selected by almost 50 percent of the respondents. Exactly half of that percentage selected "retail clerk." "Amusement park attendant" received two percent of all the votes, and five times that percentage of the votes were given to "coffee shop employee," which came after "food delivery driver."

▶ 訳文

大学生100人に「学生にとって最適なアルバイトは何だと思いますか」という質問をしました。彼らには次の5つの仕事、「遊園地の係員」、「コーヒーショップの店員」、「料理の配達員」、「レストランの従業員」、そして「小売店の店員」のうち1つを選んでもらいました。最も多く選ばれたのは「レストランの従業員」で、回答者の50パーセント近くに選ばれました。その割合のちょうど半分が「小売店の店員」を選びました。「遊園地の係員」は全投票の2パーセントを得ており、その割合の5倍の票を得たのが「コーヒーショップの店員」で、これは「料理の配達員」の次でした。

▶ 解説

まず、第3文に「最も多く選ばれたのは『レストランの従業員』で、回答者の50パーセント近くに選ばれました」とあるので、**18**には**③**が入る。続く第4文に「その割合のちょうど半分が『小売店の店員』を選び

ました」とある。「その割合＝48パーセント」の半分は24パーセントなので、**19**には**④**が入る。続く最終文の「『遊園地の係員』は全投票の2パーセントを得ており、その割合の5倍の票を得たのが『コーヒーショップの店員』で…」とある。「その割合の5倍」は、2パーセントの5倍(＝10パーセント)であることから、**21**には**①**が入る。それに続く「これ(『コーヒーショップの店員』)は『料理の配達員』の次でした」より、「コーヒーショップの店員」(10パーセント)の次に割合が高いのが「料理の配達員」(16パーセント)だとわかるため、**20**には**②**が入る。

▶ 語句

part-time job「アルバイト」

choose「～を選ぶ」

following「次の、以下の」

amusement park「遊園地」

attendant「案内係、係員」

employee「従業員、店員」

delivery「配達」

retail「小売(の)」

clerk「販売員、店員」

common「一般的、よくある」

choice「選択(肢)」

select「～を選ぶ」

percent「パーセント、割合」

respondent「回答者」

percentage「パーセンテージ、割合」

exactly「まさに、ちょうど」

vote「票、得票」

問22~25

22
24

①
③

23
25

②
⑤

▶ 読み上げ文

This weekend we'll be having a sale on boat rentals. The discount rate depends on the size of the boat. The rental fees for boats that can carry 12 or more people are discounted by 25%. Boats that can hold 8 to 11 people are 15% off. And smaller boats that can seat 4 to 7 individuals are 10% off. Oh, there's one more thing! The rental prices of new boats are only 5% lower, and they are marked with an anchor symbol.

▶ 訳文

今週末は、ボートレンタルのセールを行います。割引率はボートの大きさによって異なります。12人以上に乗れるボートのレンタル料は25パーセント引きに

なります。8人から11人乗りのボートは15パーセントの割引です。そして、より小型の4人から7人乗りボートは10パーセント引きです。そうだ、もう1つあります！ 新品のボートのレンタル料は5パーセントしか安くなりません。いかりの印がついているのがそうです。

▶ 解説

読み上げられた順にまとめると、第3文に「12人以上乗れるボートのレンタル料は25パーセント引きになります」とあることから、**[25]**には**⑤**が入る。続く第4文の「8人から11人乗りのボートは15パーセントの割引です」より、**[24]**には**③**が入る。さらに第5文の「より小型の4人から7人乗りボートは10パーセント引きです」と第7文の「新品のボートのレンタル料は5パーセントしか安くなりません。いかりの印がついているのがそうです」より、**[23]**には**②**が、いかり記号のついている**[22]**には**①**が入るとわかる。リスニング問題ではこのように、途中で情報の訂正や追加がされることがよくあるので、最後まで集中して聞き取るようにしたい。

▶ 語句

have a sale on「～のセールを行う」
rental「レンタル；レンタルの」
discount rate「割引率」
depend on「～によって決まる」
fee「料金」
discount「～を割引く」
seat「～を収容[座らせることが]できる」
individual「個人，1人の人間」
mark「～に印をつける」
anchor「いかり」
symbol「シンボル，記号」
(表)
breeze「そよ風」

B

問26 **[26]** **②**

▶ 読み上げ文

- ①** I shop at *City Market*. They have a good selection of fruits and vegetables, and the bakery makes delicious bread and dessert daily. I'm a vegetarian, but I heard that they sell frozen meat. There is also a pharmacy, which comes in handy when you are sick.
- ②** I recommend *Food King*. They have a great butcher, and the seafood is delivered from the

market every morning. Vegetables are always in season. Their bakery prepares fresh bread and great sweets, and they also decorate cakes for any occasion. The staff in their pharmacy is very helpful.

- ③** You'd better shop at *Fresh Harvest*. I like their bakery desserts, and they offer free samples on weekends. Vegetables, meat, and seafood are all fresh. As for a drugstore, I've heard that there's one two blocks away from this store.
- ④** My favorite is *Smith's Natural Foods*. They have the best bakery in town. They don't sell any fish, but their butcher shop has a wide variety of meat. They also have a small drugstore where you can get vitamins as well as medicines.

▶ 訳文

- ①** 私はシティ・マーケットで買い物をします。果物と野菜の品揃えが良く、ベーカリーでは美味しいパンやデザートを毎日作っています。私はベジタリアンなのですが、そこでは冷凍肉を売っているそうです。薬局もあるので、病気のときには重宝しますよ。
- ②** フード・キングがお勧めですよ。とてもいい肉屋があり、魚介類は毎朝市場から届けられます。野菜は常に旬のものが手に入ります。ベーカリーでは焼きたてのパンやおいしいスイーツが販売され、どんな行事にも合うケーキのデコレーションもしてくれます。薬局のスタッフはとても助けになります。
- ③** フレッシュ・ハーベストで買い物するほうがいいでしょう。私はベーカリーのデザートが好きで、週末には無料の試食もあります。野菜や肉、魚介類はどれも新鮮です。ドラッグストアに関しては、この店から2ブロック離れたところにあると聞いています。
- ④** 私のお気に入りにはスミズ・ナチュラル・フーズです。町一番のベーカリーがあります。魚は売っていませんが、肉屋にはさまざまな種類の肉があります。また、小さな薬局もあり、薬はもちろんビタミン剤も買うことができます。

▶ 解説

毎週買い物をする食料品店を決める上での条件は、A「肉と新鮮な魚介類が提供されている」、B「パンやデザートを提供するベーカリーがある」、C「薬局がある」の3つで、すべての条件を満たしている**②**が正解となる。**①**はベーカリーと薬局の条件は満たしているが、肉は冷凍で売っているとあるものの、魚介類を売っているかどうかについての言及がないことから不

適切。③はベーカリーと、肉と新鮮な魚介類を扱っているという条件は満たしているが、薬局が2ブロック離れたところにあると述べられていることから条件Cに合わないため不適切。④は薬局の条件は満たしているが、ベーカリーについては「町一番」とほめているにとどまり、デザートを提供しているかどうかの言及がない。また、魚を売っていないと述べられていることから不適切。

▶ 語句

①

market「市場、マーケット」
selection「品揃え」
bakery「パン屋、ベーカリー」
delicious「おいしい」
bread「パン」
dessert「デザート」
daily「毎日」
vegetarian「ベジタリアン、菜食主義者」
frozen「冷凍の」
pharmacy「薬局」
come in handy「役に立つ、重宝する」

②

recommend「～を勧める」
butcher「肉屋」
deliver「～を配達する[届ける]」
in season「季節に合った、(食べ物が)旬で」
prepare「～を用意[調理]する」
fresh「出来たての、新鮮な」
decorate「～を飾る[デコレーションする]」
occasion「時、場合、大事な行事」

③

had better *do*「～したほうがいい」
harvest「収穫」
offer「～を提供する」
free sample「試供品、無料サンプル」
as for「～に関しては」
drugstore「ドラッグストア、薬局」
block「ブロック、街区」

④

favorite「お気に入り」
a wide variety of「さまざまな～」
vitamin「ビタミン(剤)」
A as well as B「BはもちろんAも、BだけでなくAも」
medicine「薬」

第5問

モノログの聞き取りとワークシート 完成・内容一致

▶ 出題のねらい

長めのモノログを聞き、発話内容をまとめたワークシートを完成させる問題。また、内容に関して最も適切な選択肢を選択する問題も出題される。読み上げられる英文をただ聞き取るだけでなく、ワークシートやグラフ、表など複数の情報を参考にして概要や要点をとらえる力が求められている。

▶ 読み上げ文

Obesity rates in the U.S. are on the rise, and the problem of childhood obesity is a particularly important one. So what is being done to combat this problem? In 2010, the school meal standards, which promote healthier and more balanced school lunches, were set. However, education about health and nutrition is also important. Although some schools teach nutrition and cooking in FCS (Family Consumer Science) classes, most school children are not given information that will help them grow into healthy adults.

FCS was once called Home Economics. Home Economics was proposed by a female scientist in the early 1900s. She wanted to help women do housework efficiently. Basic household skills, such as cooking, cleaning, sewing and domestic finance, were taught mainly to female students in Home Economics classes to make them better future homemakers or housewives. This changed with society over the years, and in 1994, some groups began to use the term FCS instead of Home Economics. The classes were redesigned to help students develop the essential knowledge and skills to be independent adults and lead a better life. FCS teaches essential life skills, nutrition and wellness, personal and family finance, work and family matters, home and interior design, textiles, etc. Nowadays, both male and female students take FCS classes. However, many schools do not offer FCS classes, and, what's more, they are not required for graduation.

Perhaps, it is assumed that these essential life skills could be taught at home. For example, some parents may think their children will learn cooking in their everyday lives. However, research shows that only a third of parents cook with their children

regularly and nearly 50 percent of all American meals are eaten at restaurants. So, schools should provide FCS classes, especially classes focused on nutrition and wellness, to students. That's an effective way to encourage children to choose healthier food and reduce obesity. The obesity rate in Japan, which requires FCS classes in schools, is not so high compared to the world average.

▶ 訳文

米国では肥満率が上昇しており、小児肥満の問題は特に重要です。では、この問題に対してどのような対策がとられているのでしょうか。2010年には、より健康的でバランスのとれた学校給食を推進する「学校給食基準」が設定されました。しかし、健康と栄養に関する教育も重要です。一部の学校では、家庭科教育(FCS: Family Consumer Science)の授業で栄養や料理を教えています。ほとんどの子供たちは健康な大人に成長するための助けとなる情報を与えられています。

家庭科教育はかつて家庭経済と呼ばれていました。家庭経済は、1900年代初頭に1人の女性科学者によって提唱されました。彼女は、女性が家事を効率的に行えるように支援したいと考えました。料理、掃除、裁縫、家計などの基本的な家事スキルを、家庭経済の授業の中で、主に女子生徒に教えることで、将来の家事の担い手や主婦としての資質を高めようとしたのです。これは年月を経て社会とともに変化し、1994年に家庭経済の代わりに家庭科教育という言葉の一部の団体が使い始めました。この授業は、生徒が自立した大人になり、より良い生活を送るために必要な知識とスキルを身につけるために再設計されたのです。家庭科教育では、必要不可欠なライフスキル、栄養と健康、個人と家庭の財務、仕事と家庭の問題、住宅とインテリアデザイン、織物などを教えています。現在では、男女ともに家庭科教育の授業を受けています。しかし、家庭科教育の授業は多くの学校で開講されておらず、しかも卒業のために必須とはされていません。

おそらく、このような必要不可欠なライフスキルは、家庭で教わるものだという前提があるのでしょうか。例えば、子供が日常生活の中で料理を学ぶと思っている親がいるかもしれません。しかし、調査によると、子供と一緒に定期的に料理をする親は3分の1しかおらず、アメリカの食事全体の50パーセント近くはレストランで食べられています。ですから、学校では家庭科教育の授業、特に栄養と健康に焦点を当てた授業を生徒に提供すべきです。それが、子供たちによ

り健康的な食事を選ぶように促し、肥満を減らすための効果的な方法です。学校で家庭科教育の授業が義務づけられている日本の肥満率は、世界平均と比べてもそれほど高くありません。

ワークシート

○小児肥満を減らすために

- ・学校給食基準：学校において **27**
- ・家庭科教育(FCS)：栄養と健康についての知識を生徒に提供する

○家庭経済→家庭科教育

	家庭経済の授業	家庭科教育の授業
対象	28	29
目的	30	31
授業内容	基本的な家事スキル	必要不可欠なライフスキル

▶ 解説

問27 **27** ④

- ① 体力テストを実施する
- ② 子供の心のバランスを保つ
- ③ 栄養の専門家を配置する
- ④ より健康的な昼食を推進する

空所には「学校給食基準」の説明が入るので、第1段落第3文を参照する。より健康的でバランスのとれた学校給食を推進すると述べられていることから、④が正解。

問28～31 **28** ③ **29** ①
30 ④ **31** ⑤

- ① 男子と女子
- ② 主に男子
- ③ 主に女子
- ④ より良い家事の担い手にするため
- ⑤ 自立した大人にするため
- ⑥ より裕福な大人にするため

1990年代初頭に提唱された家庭経済と現在の家庭科教育の対象、目的、授業内容を比較した表を完成させる問題。家庭経済については、第2段落第4文を参照する。「料理、掃除、裁縫、家計などの基本的な家事スキルを、家庭経済の授業の中で、主に女子生徒に教えることで、将来の家事の担い手や主婦としての資質を高めようとしたのです」とあることから、**28**には③、**30**には④が入る。家庭科教育については、同段落第5文以降を参照する。第8文に「現在で

は、男女ともに家庭科教育の授業を受けています」とあることから、[29]には①が入る。目的については、第6文の「この授業は、生徒が自立した大人になり、より良い生活を送るために必要な知識とスキルを身につけるために再設計されたのです」という記述から、[31]には⑤が入ることがわかる。

問32 [32] ②

- ① アメリカの子供たちは、親にファストフードを食べるのを止めるよう要求している。
- ② アメリカの子供たちは、親から料理を習う機会があまりない。
- ③ アメリカの家庭は週の半分以上を外出できるほど裕福ではない。
- ④ アメリカの親は、子供に栄養や健康に関する授業を受けさせたいと考えている。

第3段落第1～3文に、子供は家庭で料理を習うことが前提となっているようだが、実際は子供と一緒に料理をする親は3分の1しかいないと述べられている。これを言い換えた②が正解。③については、同段落第3文の「アメリカの食事全体の50パーセント近くはレストランで食べられています」という内容と矛盾しており、かつ裕福かどうかということに関して言及もされていないため不適切。①と④は読み上げ文に言及がない。

▶ 語句

(読み上げ文)

〈第1段落〉

obesity「肥満」

rate「率、割合」

be on the rise「増加している」

childhood「小児期」

particularly「特に、とりわけ」

combat「～に対抗する」

school meal「給食」

standard「基準」

promote「～を推進[促進]する」

balanced「バランスのとれた」

education「教育」

nutrition「栄養、栄養学」

consumer「消費者」

grow into「成長して～になる」

〈第2段落〉

economics「経済学」

propose「～を提唱[提案]する」

housework「家事」

efficiently「効率的に」

household「家庭の」

sewing「裁縫」

domestic finance「家計」

mainly「主に」

homemaker「家事の担い手、家事従事者」

housewife「主婦、専業主婦」

over the years「長年にわたって、何年か経つ間に」

term「言葉、用語」

instead of「～の代わりに」

redesign「～を再設計する」

develop「～を身につける」

essential「必要不可欠の、根本的な」

knowledge「知識」

independent「自立した、独立した」

lead a life「生活を送る」

wellness「健康(であること)」

interior「インテリア」

textile「織物、布地」

nowadays「現在では、最近」

offer「～を提供する」

what's more「その上」

require「～を必要とする[義務づける]」

graduation「卒業」

〈第3段落〉

perhaps「おそらく」

it is assumed that SV「当然～だと思われる、～と推測される」

research「調査、研究」

regularly「定期的に」

nearly「ほぼ」

provide「～を提供する」

especially「特に」

(be) focused on「～に焦点を当てた」

effective「効率的な」

encourage O to do「Oが～するよう促す」

reduce「～を減らす」

compared to「～と比べると」

〈設問〉

physical fitness test「体力テスト」

keep O in balance「Oを適度なバランスに保つ」

place「～を置く」

expert「専門家」

demand「～を要求する」

opportunity「機会」

wealthy「裕福な」

eat out「外食する」

問33 33 ④

▶ 読み上げ文

This graph is based on two American studies. While in the U.S. people are spending less on food at grocery stores, obesity has risen. This demonstrates that eating away from home has contributed to obesity in the U.S. What can we guess from this?

▶ 訳文

このグラフは、アメリカの2つの研究に基づいています。アメリカでは、人々が食料品店で食べ物に使うお金が減っている一方で、肥満が増えています。このことから、アメリカでは家の外での食事が肥満の一因になっていることがわかります。このことから何が推測できるでしょうか？

(選択肢)

- ① アメリカの食料品店では、1988年よりも2018年のほうが提供する食品の種類が少なくなった。
- ② アメリカのレストランでは現在、肥満対策として、より健康的な料理の選択肢が提供されている。
- ③ アメリカ人が食べ物に使うお金が全体として減っていることから、肥満が減少した。
- ④ 家庭で食事を調理する機会が減っているため、肥満が増えた。

▶ 解説

グラフから、食料品店で使われる食費と肥満率の相関関係の30年にわたる動向を読み取る。1988年には、食料品店で支払う食費の割合がそれ以降の年よりも高い一方、肥満率はそれ以降の年よりも低い。これは、当時は食料品店で買ったものを調理して食べていたため肥満が少なかったことが推測できる。その10年後の1998年、そのまた10年後の2008年にかけて、食料品店で使うお金は減り、肥満率が徐々に増え、2018年には、その差はほとんどなくなっている。これはつまり、食料品店で使うお金が減った、つまり家で調理する機会が減ったことによって、肥満が増えたことが推測でき、この傾向を表している④が正解。③については、肥満は減少ではなく増加していること、アメリカ人が食べ物にけるお金が全体として減っているかどうかはグラフからも読み上げ文からも読み取れないことから不適切である。

▶ 語句

(読み上げ文)

graph「グラフ」

be based on「～に基づいている」

study「研究」

grocery store「食料品店」

demonstrate「～をはっきり示す」

contribute to「～の一因となる」

guess「～を推測する[言い当てる]」

(グラフ)

relation「関係、関連」

food expenses「食費」

(設問)

variety「種類」

option「選択肢」

address「～に対処する[取り組む]」

decrease「減少する」

overall「全体として」

increase「増加する」

prepare「～を準備[調理]する」

第6問 会話の聞き取り(内容一致・図表選択)

▶ 出題のねらい

2つの長めの会話を聞き、それぞれの発言者の話の趣旨を正しく理解できたかどうかを問う問題。Aは2人の会話を聞き、各話者の発言内容に合致する選択肢を選ぶ問題。Bでは話題になっていることがらについて4人の話者が肯定的か、否定的かをとらえる問題と、4つの異なるグラフ、図などを識別する設問が出題される。各発言者の意見を正しく把握する力、会話の概要や要点を理解して、整理しながら聞く力が求められている。

A

▶ 読み上げ文

Nathan : What are you doing, Anna?

Anna : I'm reading an email from the university. It says that they will require all students to study a foreign language this year. Sounds exciting!

Nathan : What!? That's bad news!

Anna : I think it's important to be able to speak a language other than English. Our world is becoming increasingly globalized.

Nathan : It's not easy to master a new language in a year or two.

Anna : You'll never know unless you try, Nathan. I'm going to take Spanish. I'd like to travel to South America someday.

Nathan : Unlike you, I have no interest in traveling abroad. Besides, I'm busy studying math and chemistry every day.

Anna : Don't you know that studying a foreign language will improve our chances of getting a job?

Nathan : No, I don't. I don't plan to work outside of the U.S.

Anna : Now, more and more employers in the States want to hire bilingual people.

Nathan : Seriously!? But I don't understand why I need a foreign language when I want to be an engineer in the future.

Anna : By learning another language, you can enhance your communication skill, that is, the ability to try to understand what others think and to have others understand what you think.

Nathan : Indeed, it's an important skill to have. When we work, we have opportunities to communicate with many different people every day.

Anna : That's right, Nathan.

Nathan : I understand. I'm going to learn Spanish with you.

▶ 訳文

ネイサン：アンナ、何してるの？

アンナ：大学からのメールを読んでいるのよ。今年はすべての学生に外国語の勉強を義務付けると書いてあるわ。ワクワクするわね！

ネイサン：えっ!? それは悪いニュースだよ！

アンナ：英語以外の言語を話せることは重要だと思うわ。世の中はますますグローバル化しているからね。

ネイサン：新しい言語を1年や2年でマスターするのは簡単ではないよ。

アンナ：やってみないとわからないわよ、ネイサン。私はスペイン語を習うつもり。いつか南米に旅行に行きたいと思っているから。

ネイサン：君と違って、僕は海外旅行に興味がないんだ。それに、僕は毎日、数学や化学の勉強で忙しいんだ。

アンナ：外国語を勉強すれば、仕事に就くチャンスが増えることを知らないの？

ネイサン：いや、知らないよ。僕はアメリカ以外の国で働くつもりはないよ。

アンナ：今、アメリカではバイリンガルの人を採用したいという企業が増えているのよ。

ネイサン：本当に!? でも、将来エンジニアになりたいと思っているのに、なぜ外国語が必要なのか理解できないよ。

アンナ：ほかの言語を学ぶことで、コミュニケーション能力、つまり、他人の考えていることを理解しようとする能力や、自分の考えていることを他人に理解してもらう能力を高めることができるのよ。

ネイサン：確かに、それは重要な能力ではあるね。仕事をしていると、毎日いろいろな人とコミュニケーションをとる機会があるからね。

アンナ：その通りよ、ネイサン。

ネイサン：わかったよ。君と一緒にスペイン語を勉強するとするかな。

▶ 解説

問34 34 ③

「アンナの話の要点は何か」

- ① グローバル化により、海外旅行がますます盛んになっている。
- ② 学生は興味のある授業だけを受ければよい。
- ③ 学生は将来のキャリアのために外国語を学ぶべきである。
- ④ 大学は学生にさまざまな種類の語学クラスを提供すべきである。

アンナは外国語履修に対して積極的であり、消極的なネイサンに対して、4番目の発言で「外国語を勉強すれば、仕事に就くチャンスが増えることを知らないの?」と述べ、続く5番目の発言でも「今、アメリカではバイリンガルの人を採用したいという企業が増えているのよ」と述べていることから、外国語を学ぶことが学生の将来のキャリアに有利に働くと考えていることがわかる。よって③が正解。

問35 35 ①

「次の記述のうちネイサンはどれに同意するか」

- ① コミュニケーション能力を高めることは、仕事をする上で大きな助けになる。
- ② 2, 3年でバイリンガルになるのは難しくない。
- ③ 一部の学生が外国語の授業を受けられないのは不公平だ。
- ④ アメリカで仕事に就くには、英語が流暢であることがすべてである。

エンジニアになるのになぜ外国語が必要なのか理解できないと話すネイサンに対して、アンナは外国語を学ぶことでコミュニケーション能力が高まるのだと話す。それに対してネイサンは7番目の発言で、「確かに、それは重要なスキルではあるね。仕事をしていると、毎日いろいろな人とコミュニケーションをとる機会があるからね」と述べており、これを端的に説明した①が正解。なお、②のIt is not difficult「難しくな

い」はつまり「容易だ」の意味となり、ネイサンの3番目の発言と逆の内容になるため不適切。

▶ 語句

(読み上げ文)

require O to *do*「Oに～することを求める[義務づける]」

sound「～に思われる[聞こえる]」

exciting「ワクワクする, 面白い」

other than「～以外の」

increasingly「ますます, 次第に」

globalized「グローバル化した」; globalization「グローバル化」

master「～をマスター[習得]する」

unless SV「～しない限り」

unlike「～と違って」

interest「興味, 関心」

besides「その上, さらに」

be busy *doing*「～することに忙しい」

chemistry「化学」

improve「～を向上させる[高める]」

employer「企業主, 雇い主」

hire「～を採用する[雇う]」

bilingual「バイリンガルの, 2カ国語を話せる[使用した]」

Seriously?「本当に?」

engineer「エンジニア, 技術者」

enhance「～を高める」

that is「つまり」

ability「能力」

indeed「確かに」

opportunity「機会」

(設問)

ought to *do*「～するべきである」

career「職業, 仕事, キャリア」

offer「～を提供する」

following「次の」

statement「発言, 記述」

agree with「～に賛成する」

be of help「助けになる, 役に立つ」

a couple of「2, 3の～」

prevent O from *doing*「Oが～するのを防ぐ, Oに～させない」

unfair「不公平な」

fluency「流暢さ」

B

▶ 読み上げ文

Tom : Gina, you were sleeping in math class again.

Gina : I can't help it, Tom. I get so sleepy after lunch these days.

Dave : Perhaps you don't get enough sleep. You'd better go to bed earlier.

Gina : I wish I could, Dave. But I have to stay up until midnight because we have lots of homework.

Ming : In my country, Taiwan, elementary and middle school students have a nap time during lunch break.

Tom : Oh, really, Ming? That's unbelievable.

Ming : It's true, Tom. Students have to sleep for 30 minutes after eating lunch.

Gina : Wonderful! We should have the same system in our school!

Ming : Taking a nap is beneficial for us because it clears our heads and helps us concentrate on our studies.

Dave : That's doubtful. I never get sleepy at school, so I don't need that system.

Tom : I agree with Dave. I'd rather go home early than have to take a nap.

Gina : Is that so? I'm sure there are many students like me who feel sleepy at school.

Ming : According to research done by the government, we teenagers need eight hours of sleep. Currently, more than half of us don't get sufficient sleep.

Tom : That's a big problem for our health. But I'm worried about the negative effects of taking naps.

Ming : What do you mean, Tom?

Tom : I think that if I take a daytime nap, I may not sleep well at night.

Dave : I think so too, Tom.

Ming : Don't worry about that. A short nap of 30 minutes or so won't keep you awake at night.

Gina : I think even a 15-minute nap would be enough for me.

Tom : Listening to you, I'm beginning to think that taking a short nap like that is not a big problem. Actually, I sometimes get very sleepy like Gina during class. Why don't we talk to the student council to see if we can introduce this new rule into the school?

Gina: Great idea, Tom! Let's go there right after class.
Ming: I'll go with you!
Dave: I'm not going with you, guys.

▶ 訳文

トム：ジーナ，また数学の授業中に居眠りしていたね。
ジーナ：どうしようもないのよ，トム。最近はランチ後にあまりにも眠くなってしまふの。
デιβ：たぶん睡眠が足りていないんだよ。もっと早く寝たほうがいいよ。
ジーナ：私だってそうしたいわ，デιβ。でも宿題がたくさんあるから真夜中まで起きていなきゃいけないの。
ミン：私の国台湾には，小中学校で昼休みに昼寝の時間があるのよ。
トム：えっ，本当かい，ミン？ 信じられないな。
ミン：本当よ，トム。ランチを食べ終わったあとの30分間，生徒は寝なきゃいけないの。
ジーナ：素晴らしいわ！ 私たちの学校でも同じ制度を持つべきよ！
ミン：昼寝をすると頭がすっきりして勉強に集中できるから，私たちにとって有益なのよ。
デιβ：それは疑わしいね。僕は学校で眠くなることがまったくないからその制度は必要ないな。
トム：僕もデιβの意見に賛成だな。昼寝をしなくちゃならないくらいなら，早く家に帰りたいよ。
ジーナ：そうかしら？ 私みたいに学校で眠気を感じている生徒はたくさんいるはずよ。
ミン：政府の調査によれば，私たちティーンエイジャーは8時間睡眠が必要なのよ。今は半分以上が十分な睡眠を取れていないそうよ。
トム：それは僕たちの健康にとって大きな問題だね。でも，昼寝をすることが悪影響にならないか心配だな。
ミン：トム，それはどういうこと？
トム：日中に昼寝をしたら，夜ぐっすり眠れない可能性があると思うんだ。
デιβ：僕もそう思うよ，トム。
ミン：その心配はいらないわ。30分くらいの短い昼寝なら，夜眠れなくなることはないわよ。
ジーナ：私は15分の昼寝でも十分だと思うな。
トム：君たちの話を聞いていると，それくらいの短い睡眠なら大した問題ではないように思えてきたよ。実は僕も時々ジーナみたいに授業中とても眠くなるんだ。この新しい校則を学校に導入できるかどうか，生徒会に相談してみないか？

ジーナ：トム，それはいいアイデアね！ 授業後すぐに行きましょうよ。
ミン：私も行くわ！
デιβ：僕は行かないからね。

▶ 解説

問36 36 ③

ミンは台湾出身で，自国の学校で昼食後の昼寝が導入されていることを紹介し，「昼寝をすると頭がすっきりして勉強に集中できるから，私たちにとって有益なのよ」と，昼寝の利点を述べている。ジーナはミンの話を聞いて「素晴らしいわ！ 私たちの学校でも同じ制度を持つべきよ！」と述べ，また会話の終盤でも，自分たちの学校への昼寝制度の導入を生徒会に相談することを提案したトムに対して，「それはいいアイデアね！ 授業後すぐに行きましょうよ」と述べており，昼寝に対して終始肯定的な姿勢を見せている。デιβは，ミンが挙げた昼寝の利点に対して懐疑的(2番目の発言)だったり，トムが昼寝による悪影響の話を出した際にもそれに同意(3番目の発言)したり，最後にみんなが昼寝制度を提案しに生徒会へ行こうと話している際に「僕は行かないよ」と述べたり，一貫して否定的な態度をとっている。トムは，デιβの2番目の発言「その制度は必要ないな」に対して同意しており，当初は否定的な意見を持っていたが，ミンから現代のティーンエイジャーが睡眠不足であることを聞いたことをきっかけに姿勢が変わっていく。昼寝の悪影響についてもミンから「その心配はない」ときっぱり言われ，ついには6番目の発言で，自分も授業中に眠くなっていると告白，さらに昼寝制度の導入を生徒会に相談しようと提案するほど，前向きな姿勢に変化している。したがって，最終的に学校で昼寝の時間を設けることに賛成しているのは，ミン，ジーナ，トムの3人となるので，正解は③である。

問37 37 ①

(図表のタイトル)

- ① ティーンエイジャーの平均睡眠時間
- ② 国別の平均睡眠時間
- ③ 睡眠不足が引き起こす悪影響
- ④ 理想的な就寝時間

ミンの4番目の発言「政府の調査によれば，私たちティーンエイジャーは8時間睡眠が必要なのよ。今は半分以上が十分な睡眠を取れていないそうよ」の根拠となるのは，ティーンエイジャーの平均睡眠時間を時間ごとに比較したデータになるため，正解は①である。②は，平均睡眠時間を示してはいるが，国ごとの

比較であること、対象がティーンエイジャーに限られていないことから不適切である。

▶ 語句

(読み上げ文)

I can't help it. 「どうしようもない」

sleepy 「眠い、眠気を催す」

these days 「この頃」

perhaps 「たぶん、おそらく」

stay up 「寝ずに起きている」

elementary school 「小学校」

middle school 「中学校」

nap 「昼寝、うたた寝」

unbelievable 「信じられない、驚くべき」

beneficial 「有益な、都合がよい」

concentrate on 「～に集中する」

doubtful 「疑わしい」

agree with 「～に賛成する」

would rather *do* 「～するほうがよい、むしろ～したい」

according to 「～によると」

research 「調査、研究」

currently 「現在は」

sufficient 「十分な」

be worried about 「～が心配である」

negative effect 「悪影響」

daytime 「日中の」

awake 「目が覚めて」

actually 「実は、本当は」

Why don't we *do*? 「(一緒に)～しませんか?」

student council 「生徒会」

introduce A into B 「A を B に導入する」

(設問)

average 「平均の」

duration 「期間、時間、(時間の)継続」

lack 「不足、欠乏」

cause 「～を引き起こす」

gain weight 「体重が増える、太る」

depression 「うつ病」

ideal 「理想的な」

bedtime 「就寝時間」

asleep 「眠って、就寝中で」